



## オープンダイアログ・サミット2023 ～●●のためのオープンダイアログ 博覧会～

2023年7月1日(土)10時～17時半(交流会:20時～22時)

## 参加団体一覧 ※一覧からリンクでとべます

1. 一般社団法人オープンダイアログ・アプローチ研究会FLAT.....	3
2. NPO法人VITA.....	4
: 発達障害の方のためのオープンダイアログ.....	4
3. りすにんぐファーム.....	5
: 安心・安全な対話づくりのためのオープンダイアログ.....	5
4. 熊本リフレクティング研究会.....	6
: 熊本でのリフレクティング文化醸成のためのリフレクティング.....	6
5. たがしゅう対話重視型コミュニティ.....	7
: すべての人のためのオープンダイアログ～初めての人も経験者でも大歓迎～.....	7
6. いこいの場.....	8
: 普段使いのオープンダイアログ.....	8
7. 対話之町京都ヲ目指ス上京.....	9
: ODで共に創り育てる「場」としての町・地域.....	9
8. ウチャスコマの会.....	10
: 支援職のためのOD.....	10
9. かながわダイアログの会.....	11
: 支援者のためのオープンダイアログ.....	11
10. 私と幸せと働き方を考える会.....	12
: 女性のためのオープンダイアログ.....	12
11. 児童家庭センターとら太.....	13
: 子ども支援のためのオープンダイアログ.....	13
12. ナラティブ・カウンセリングファーム・スペース.....	14

## 1. 一般社団法人オープンダイアログ・アプローチ研究会FLAT



団体について	いつでも、誰でも、気軽にオープンダイアログに参加できる仕組みをつくりたい。 「インフラとしてのオープンダイアログ」をつくりたい。 そのために、オープンダイアログを学んだり練習したりする場をたくさんつくりていきたい。 オープンダイアログ・アプローチ研究会FLATはそんな想いを持って活動しています。
活動地域	全国(主にオンライン)
登壇者	クロ、とらっち、コッシー、かわしま
分科会のタイトル	※分科会は出展せず
分科会の概要	※分科会は出展せず
HP・FB等	HP: <a href="https://www.od-flat.org/">https://www.od-flat.org/</a> FB: <a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100088356130988">https://www.facebook.com/profile.php?id=100088356130988</a>

## 2. NPO法人VITA

: 発達障害の方のためのオープンダイアログ



団体について	働く発達障害・大人の発達障害をメインに支援しているNPOです。 その活動の中で毎週2回オンラインと月1回のリアルでのオープンダイアログを開催しております。 多様性のある人々でも活躍できる社会、みんなが生き生きできる社会の実現を目指します。
活動地域	全国(オンライン)、宮城、東京、神奈川
登壇者	とらっち、たまこ
分科会のタイトル	オープンダイアログ～発達障害・神経発達症の当事者目線から～
分科会の概要	発達障害・神経発達症の当事者・支援者・理解のある方を中心に、普段行っているオンラインでの当事者目線でのオープンダイアログを行います。 悩みの相談も多いですが、居場所としてのオープンダイアログの意味合いも多くあります。
HP・FB等	HP: <a href="https://npovita.org/">https://npovita.org/</a> Twitter: <a href="https://twitter.com/tanutora_88dev">@tanutora_88dev</a>

### 3. リすにんぐファーム

: 安心・安全な対話づくりのためのオープンダイアローグ



リすにんぐファーム

団体について	リすにんぐファームは、フィンランドの対話を通して、自分や周りに安心を感じられる場を提供しています！ 2020年4月より、オンライン（ZOOM）を使ってグループワークや相談支援の場を作っています。 対等な関係で、相手を尊重し、ありのままを感じ、対話を続けていけるといいなと思い活動しております。 支援者の経験がある方や、経験専門家が活躍できる場も作っていきたいと思っています。
活動地域	全国（オンライン）
登壇者	なりさん、たあこさん、にこさん、みゆさん
分科会のタイトル	オープンダイアローグのロールプレイの実演に挑戦！
分科会の概要	普段、リすにんぐファームでやっている「オープンダイアローグのロールプレイ体験」を実演してみたいと思います。 ゲストの皆様は、一緒に参加して頂いたり、見学者としてご参加して頂ければと思います。 ご覧になったの感想は、ジャムボードに優しくおいて頂くようお願いしたいと思います。 また、最後に、フィッシュボール形式で、見学者の方からご感想をお盆にのせて頂く場も作りたいと思います。
HP・FB等	HP: <a href="https://listening-firm.com/">https://listening-firm.com/</a> FB: <a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100069944560546">https://www.facebook.com/profile.php?id=100069944560546</a>

## 4. 熊本リフレクティング研究会

: 熊本でのリフレクティング文化醸成のためのリフレクティング



団体について	<p>ケア領域における新たな参加・協働の技法として「リフレクティング」を学び、それぞれの臨床実践現場などの多様な場面でどのように導入・活用すればよいかなどをフラットな立場で話し合い、考える場所です。</p> <p>またこのような取り組みを通じて熊本全体でのリフレクティング文化の形成・醸成を目指し活動したり研究したりする有志の集まりです。</p>
活動地域	熊本県、全国(オンライン)
登壇者	大畠高昭、松本智昭、他
分科会のタイトル	熊本リフレクティング研究会のこれまでとこれから
分科会の概要	<p>熊本リフレクティング研究会では、目的にもあるように熊本でのリフレクティング(対話)文化の醸成を目指した有志が集まり地域へ向け2018年から2020年までリフレクティングセミナーを実施していました。</p> <p>しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴いその活動を中止することを余儀なくされました。</p> <p>その中でどのようにしたら良いかとメンバーで考え、2020年12月より準備して2021年4月からオンラインでの自主勉強会の場を作ってきました。</p> <p>自主勉強会は現在も継続しており、多くの方からのご参加を頂いております。</p> <p>また、2022年12月にはセミナーの目的を引き継いだ地域との交流や発信の場としてオンライン開催とはなりましたが、リフレクティング祭り(リフフェス)を実施。</p> <p>150名ほど方が全国からご参加頂きました。</p> <p>そのような取り組みの中で出来上がってきたネットワークは少しずつではありますが広がりと豊かさを持ちリフレクティング文化の醸成へとつながっていくような気がしています。</p> <p>そのような取り組みを通した振り返りの中からこれまでの実践がどのようなものだったのか、これからについて分科会の中で浮かび上がってくるものを参加された方と共有していくことが出来ればと思います。</p>

## 5. たがしゅう対話重視型コミュニティ

:すべての人のためのオープンダイアログ～初めての人も経験者でも大歓迎～



団体について	価値観の押しつけから逃れ、あるいは自分自身の中での無意識の固定観念を見直し、本当に望む方向を見失わないように、あるいは心身の健康を取り戻せるようになるために「対話」の持つ可能性を追求し続けるコミュニティ
活動地域	全国
登壇者	たがしゅう、きよこさん、ゆみさん
分科会のタイトル	もやもやしたらオープンダイアログしてみてもいいし、そのままにしてみてもいい～たがしゅう対話重視型コミュニティの場合～
分科会の概要	たがしゅう対話重視型コミュニティのオープンダイアログは、主催者の思いつきで始めた公開企画「オープンダイアログにふれあう会」に始まり、とりあえずやってみる経験を積み重ねてきました。 明確な目的を持たず、誰が集まるかもわからない中、各々の立場や肩書きを脇に置いた対等で異なる立場で言葉を交わし合う場を心地よく過ごすにはどうすればいいか。 現時点での当コミュニティでの試行錯誤の形をお示したいと思います。
HP・FB等	HP(対話関連イベント): <a href="https://smart.reservestock.jp/event_form/event_calendar/28443">https://smart.reservestock.jp/event_form/event_calendar/28443</a>

## 6. いこいの場

: 普段使いのオープンダイアログ



団体について	群馬県高崎市でオープンダイアログの手法を取り入れた対話の場を毎月開催しています。 話す人も、聴く人も、終わった時にちょっぴり心が軽くなるような場になることを願って、 いこいの場と名付けました。 少し心が疲れたな、そんな時はぜひいらして下さい。
活動地域	群馬県高崎市
登壇者	まきこさん、mieさん
分科会のタイトル	普段使いのオープンダイアログ～みんな違って、みんないい～
分科会の概要	普段は対面で開催している対話の場を、今回はオンラインで行ってみます。 生活の中の困りごとを話し、聴くことで、参加した人みんなの心がちょっぴり軽くなる、 そんな《普段使いの》対話の場をぜひ体験してみてください。
HP・FB等	HP: <a href="https://ikoinoba.localinfo.jp/">https://ikoinoba.localinfo.jp/</a> FB: <a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100087631782096">https://www.facebook.com/profile.php?id=100087631782096</a>



## 7. 対話之町京都ヲ目指ス上京

:ODで共に創り育てる「場」としての町・地域



団体について	共に創り、共に育てる「場」として「まち」「地域」を想定し、「対話しましょう」ではなく、当たり前前にODIにヒントを得た対話ができる町、京都を目指しています。
活動地域	京都市上京区
登壇者	おばっちゃん@京都
分科会のタイトル	「置きベン」に於ける「へり」の効用
分科会の概要	医療や支援という枠からはみ出て、0次ラインでの「対話空間」がそこかしこに在る事を目指しています。 「助けて」となるまえに「対話できる町」地域を目指しています。 具体的には町にベンチを設置し、うっかり「話しができる」人と人が繋がる活動を紹介させていただきます。 キーワードは「李白が山をみるとき、山もまた李白をみている」「通学路の非通路化」などです。
HP・FB等	

## 8. ウチャスコマの会

:支援職のためのOD



団体について	支援者の学びのための場として活動してきました。 今はそれぞれの現場において、より良い支援のためにどのように対話を活用出来るかを模索しています。 支援者のピアグループとしての機能もあります。
活動地域	札幌市・石狩市を中心に全国
登壇者	やすこ、遠藤、岡島、すみ
分科会のタイトル	支援の現場でどんなふうに対話を活かせるか
分科会の概要	それぞれの支援の現場において、どのように対話実践を行っているか、または行えるかを対話によって展開してみたいと思います。 登壇者紹介: 遠藤(地域活動支援センター/リカバリー支援)、すみ(相談室/ひきこもり支援)、岡島(就労B/就労支援)、やすこ(生活訓練/家族支援)
HP・FB等	連絡を取りたい方がいらっしゃいましたら、FLATへお問合せ下さい

## 9. かながわダイアログの会

: 支援者のためのオープンダイアログ



団体について	オープンダイアログアプローチをリアルで体験したいという仲間が集まって月1回小さな対話の場を開いています。 2022年2月からはなすときくを分ける、リフレクティングで内的対話を味わう体験を積み重ねています。
活動地域	神奈川県横浜市
登壇者	かのこ
分科会のタイトル	※分科会は出展せず
分科会の概要	※分科会は出展せず
HP・FB等	連絡を取りたい方がいらっしゃいましたら、FLATへお問合せ下さい

## 10. 私と幸せと働き方を考える会

: 女性のためのオープンダイアログ



団体について	<p>熊本県事業「熊本型女性寄り添い支援プロジェクト」くもとWOMEN'S CAFÉ～小さなことから安心して相談できる場づくり・つながりづくり～の活動受託した団体メンバーが活動継続のために立ち上げたグループ。</p> <p>相談するまでもない(無自覚な我慢)ことこそ話される場が必要だ、女性は環境やそれぞれの立場、ライフステージに応じて、避け難い悩みがあり対話によって孤立・孤独感の解消、癒しが可能なのではないか・・・という思いから女性のためのオープンダイアログを開催している。</p>
活動地域	熊本、全国(オンライン)
登壇者	コッシー、ナポ、マリア
分科会のタイトル	女性のためのオープンダイアログ～誰かに聞いて欲しいけど誰でもいいわけじゃない、話されたいものがある～
分科会の概要	<p>家庭や地域の役割や属性、仕事の立場、私を形作る色々な枠から離れて、「私」としての語りを聞き合う場です。</p> <p>女性ならではの悩みやライフステージ特有の葛藤など、話をする事、聞くことそれぞれに気づきを得たり、内省を深める機会とします。</p>
HP・FB等	<p>Peatixグループページ:  <a href="https://social-wreath.peatix.com/">https://social-wreath.peatix.com/</a>            サービスLP:  <a href="https://selfcare-od.hp.peraichi.com/">https://selfcare-od.hp.peraichi.com/</a></p>

## 11. 児童家庭センターとら太

:子ども支援のためのオープンダイアログ



団体について	<p>児童家庭支援センターは、児童福祉法に規定されている児童相談機関です。18歳位までの子どもとその家庭のお困り事について、福祉と心理の相談員がご相談を伺います。</p> <p>定期開催の取り組みとして、育児サポートの会（トーキングサークルとペイトレミニ講座）、高校生くらいの方々とオープンダイアログ、支援者学習会を実施しています。なお、オープンダイアログの試みは、個別に、家族ミーティングとしても行っております。</p>
活動地域	熊本県八代市・八代郡
登壇者	のりちゃん(発表者)、やまちゃん、やなちゃん、ゆみちゃん
分科会のタイトル	子ども支援のオープンダイアログとその他の対話アプローチ実践
分科会の概要	<p>発表者は、小中学校スクールソーシャルワーカー(SSW)を経験し、児童家庭支援センターで相談員をしています。</p> <p>SSW経験の中でいじめケースに出逢い、修復的対話(RJ)について学び、対話実践、RJサークル(トーキングサークル)を行っていました。対話実践を重ねてみることで、当事者の語りや会話の相互作用の力動を実感し、支援観が随分変わりました。その経過の中でオープンダイアログを知り学びつつ、現在は児童家庭支援の現場で、実際のニーズに適する実践の試みと、振り返り、支援者対象の学習会を行なっています。</p> <p>以上のプロセスと検討の試みなどをご紹介します、「対話アプローチがもたらしてくれる可能性」についてフィッシュボール形式のリフレクティングを参加者の皆さまとできればと思います。</p>
HP・FB等	<p>HP(とら太の会／児童家庭支援センターとら太):  <a href="https://www.toratanokai.com/">https://www.toratanokai.com/</a>            FB(児童家庭支援センターとら太):  <a href="https://www.facebook.com/profile.php?id=100090305696059">https://www.facebook.com/profile.php?id=100090305696059</a></p>

## 12. ナラティブ・カウンセリングファーム・スペース



団体について	<p>「スペース」とは、それは、あなたといっしょに作る、居心地の良い会話空間          ナラティブ・カウンセリング・ファーム「スペース」(いつも心にスペースを)は、「あなたがあなたらしく動きはじめる会話空間」をともに創りたいとの想いから開設しました。自分自身のために、会話をする空間。ふだんでは、なかなか話せないことを話せるようなところ          あなたが気になっていることを初めて言葉にしていけるようなところ。          そんな願いが込められています。          カウンセリングだけでなく、支援者が話すための場作り、RC(リフレクシヴカンパセーション)、OW&amp;R(オウル Outsider Witness &amp; Reflecting)チーム、ワークショップ等も行っています。</p>
活動地域	全国(オンライン)、東京
登壇者	<p>岩本 善人(よっしー) (ナラティブ・カウンセリング・ファーム・スペース)          (今回の助っ人メンバー)          韭沢 明 (にらいさん) (所属)オフィスまほろば(東京)          西岡 望 (クロちゃん) (所属)一般社団法人 オープンダイアログ・アプローチ研究会FLAT          石井 喜美江 (きみちゃん) (所属)用賀地域包括支援センター</p>
分科会のタイトル	<p>もうひとつのリフレクティング          (ナラティブ・セラピーおける、オウルチーム(Outsider Witness &amp; Reflecting Team)の実践、その可能性と広がり</p>
分科会の概要	<p>「ホワイテが提示するアウトサイダーウィットネスへのインタビューを形作る4つの質問カテゴリーは、定義的祝祭という文脈に限らず(今や一般に広く知られるオープンダイアログのミーティング場面等においても)リフレクティング・チームのメンバーがそれらの問いを自らに振り向けることができるなら、リフレクティングでたんなる噂話や称赞実践を行うという好ましからぬ轍を踏むのを避けることに、大いに貢献するだろう。(矢原隆行「ナラティブとケア 第14号 p56」)」</p> <p>オウル( Outsider Witness &amp; Reflecting)チームとして紹介します。          そこで行われる工夫と配慮はどんなものなのでしょう。          その可能性と広がりを感じてみてください。</p>
HP・FB等	<p>HP: <a href="https://counseling.collabo.jp/">https://counseling.collabo.jp/</a>          FB: <a href="https://www.facebook.com/NarrativeCounselingSpace">https://www.facebook.com/NarrativeCounselingSpace</a></p>